

稲城野草散策の会

野草スケッチ エゾタンポポ (キク科)



1997/03/31

稲城市浜坂

絵と文 Ta

アマチュアにとって、「植物観察」とは何だろうか。

出版されている図鑑をなぞっているわけだから、「勉強」かもしれないが、少なくとも「学問」ではない。

もっとも、学問と呼んで差し支えないほどの、独創的な業績を残しているアマチュアもいるが、われわれのレベルはそれほど高くはないのが自慢?である。

では、単なる暇つぶしなのか?

会報第15号 2006年3月19日発行 発行責任者 尼子 房夫

そういわれたら、やはり反発したくなる。

野山を歩き回ってはいるが、体育会系とは言いがたい。

たまには高山へ登ることもあるが、「目的地へ行くことが目的ではない」などと称して、途中で引き返したりするほどだ。

歩く距離や頂上の高さにはほとんど関心がなく、たくさんの植物を見ることができれば、それで満足なのである。

ときには、知らない植物を目の前にして、図鑑とにらめっこしたり、ルーペを取り出して、悩ましげに一人ごちたりする。

「それはオタクでしょう」と、ぱったり斬られたら反論の言葉もないが、ちょっと違うのではないかと思ってしまう。

「じゃあ、何ですか」

「う〜ん、う〜ん、一種のゲームじゃないでしょうか」

「ゲーム？」

「そう、ゲーム。知的好奇心を満たすことができる、高度なゲームなのです」

「観察ゲーム、とでも呼ぶのですか？」

「いや、名前当てゲームです」

「????」

そうだったのだ。

植物観察などと変に気張らず、名前当てゲームと思えば気楽なものである。

正確に当てたら、持ち点が2ポイント増える。間違えたら1点減点だ。

ゲームであるから、持ち点を増やすべく、積極的に植物名を口に出すことが鉄則。

リーダーの後ろに張り付いてメモを取っているだけでは、持ち点の増加はおぼつかない。

1000点溜めたらハワイへ行ける。ただし、全部自分持ち(^_^)

閑話休題。

エゾタンポポなるものがある。

稲城周辺にもある、という話を聞き、探し始めた。

あった、と思っても、「それはカントウタンポポです」と言われてしまう。

あるいは、自分で判定して、やっぱりカントウだ、と結論付ける。

大分減点を重ねてしまった。

このスケッチはエソタンポポで間違いがなさそうだ。

ようやく、2ポイントをゲットできた(^_^)

稲城市坂浜、キャンプ村の近くであった。

〔行事記録〕 2月12日 平尾

天気は少し寒かったけど快晴の天気で、82名もの大勢の方の参加がありました。黒川から平尾を通して若葉台へ歩きました。観察記録を下記します。ご参考までに。

イチョウ、ヒマラヤスギ、ヒヨクヒバ、イヌマキ、イヌガヤ、カヤ、ヤマモモ、テウチグルミ、ヤマハンノキ、クマシデ、クリ、スダジイ、クヌギ、シラカシ、コナラ、ムクノキ、エノキ、ケヤキ、ヒメコウゾ、ヤドリギ、ホオノキ、コブシ、ロウバイ、クスノキ、ヤマコウバシ、クロモジ、カツラ、ヒイラギナンテン、ナンテン、ハマヒサカキ、ヒサカキ、ヒメシャラ、ナツツバキ、ヒュウガミズキ、ビワ、ヤマブキ、カナメモチ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、ヤマテリハノイバラ、ノイバラ、クサイチゴ、モミジイチゴ、ネムノキ、クズ、フジ、アカメガシワ、キハダ、センダン、ヌルデ、イタヤカエデ、ムクロジ、トチノキ、イヌツゲ、クロガネモチ、ツルウメモドキ、コマユミ、マユミ、ゴンズイ、フヨウ、ムクゲ、アオギリ、ジンチョウゲ、ミツマタ、ツルグミ、サルスベリ、アオキ、ミズキ、ハナミズキ、クマノミズキ、サンシュユ、ヤツデ、キツタ、ハリギリ、リョウブ、シャクナゲsp、カキノキ、エゴノキ、レンギョウ、マルバアオダモ、ウンナンオウバイ、ネズミモチ、トウネズミモチ、キンモクセイ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、キリ、ウグイスカグラ、ニワトコ、ハコネウツギ、サルトリイバラ、マダケ(FAM)

〔行事記録〕 3月5日 フローラ・ロゼットオフ

今年のロゼットオフは好天に恵まれて美味しく楽しい催しになりました。

総勢20名。稲城駅から中央公園まで食材を採りながら、植物の勉強をして歩きました。今年はヤブカンゾウがまだ小さくて心配しましたが、それでも必要程度は採れ、ほかにナズナ、タネツケバナ、ノビル等々。

中央公園では、タネツケバナのサラダ、ナズナのおひたし、ヤブカンゾウのぬた、ノビル、ノビルを入れたアリオリソースのじゃがいもサラダ、やぱさんちで取れたフキノトウ。

チーズ、みそ、カレー、いわしなどをのせたフランスパンのカナッペ、ドラミちゃん提供のイノシシ鍋（肉が味があってもものすごく美味しかった）、ソーセージなど。次々と出て来るので、全員おなか一杯で満足出来ました。

天気が良かったので、気分も良く、T aさんのサンシンの唄、ドラミちゃんのオカリナの演奏もあって、賑やかでのんびりと過ごした春の一日でした。

美味しいオフは楽しいですよ。次回の美味しいオフにも是非大勢のご参加をお待ちします。

いろいろ準備して下さった瀬戸さん、本当にありがとうございました。(FAM)

〔行事記録〕 2月26日 フローラ・日和田山

2月26日(日)に西武秩父線高麗駅から日和田山～巾着田というコースで、観察会が開催されました。残念ながら雨の日曜日でしたが、広沢さんと地元の金林さんの案内で、冬芽を主体とした観察会でした。久しぶりの方や新しい方も参加されました。雨の中だったので、見慣れた葉や樹皮などがいつもとはひと味違った感じだったという感想を聞きました。

雨ということもあって、早めに「ささやか」に移行、こちらも十分にエンジョイされたそうです。

今回は、雨で十分な観察が出来なかったため、ツツジの季節にリベンジ・オフをしたいという要望が出ています。(残念ながら都合で参加できなかったFAM)

〔お願い・稲城市の植物の確認〕(再掲)

稲城市の植物誌に追加する植物をチェックしています。稲城市の中で下記の植物を観察したことがあれば、どこで観察されたか教えて下さい。

皆様からの情報をお待ちしています。(FAM)

和名	場所	和名	場所	和名	場所
ナガバノウナギツカミ		ナツトウダイ		クルマバナ	
ホソバノウナギツカミ		キダチコミカンソウ		ハダカホオズキ	
ハイミチヤナギ		ウサギアオイ		ソバサ	
ツルムラサキ		ヒメミソハギ		アレチノギク	
ランヨウアオイ		アシタバ		キンケイギク	
メノマンネングサ		シシウド		台湾ホトトギス	
オノマンネングサ		オオバノヨツバムグラ		ノハラズメノテッポウ	
ギンバイソウ		クルマムグラ		オオズメガヤ	
タチカタバミ		ヤナギハナガサ		ウシノケグサ	
ヒメフウロ		ダキバアレチハナガサ		アメリカズメノヒエ	
ノウルシ		アレチハナガサ		マコモ	
ハイニシキソウ		ヒイラギソウ		ナガエミクリ	

〔行事予定〕 2006/4/23 (日) 裏高尾・小下沢

項目	説明
集合	am10時、日影沢の橋付近（今回は高尾駅ではないのでご注意ください）
交通	<p>JR中央線快速、特別快速 高尾行きまたは京王線高尾山口行きをご利用下さい JR中央線高尾駅北口からバスで日影バス停まで来て日影沢の橋に集合して下さい バスは9時29分、46分があります（220円）</p>
行く先 （解散場所）	<p>裏高尾・小下沢の溪流沿いの道、林道を歩きます 日影バス停 pm3時頃解散予定</p>
地図	
コース	<p>日影沢の橋→小下沢林道を奥まで歩き同じ道に戻って来ます→日影バス停（解散・・・15時頃）（上の地図を参照ください） コースは天候その他により変更する場合があります</p>
見所 その他	<p>見られそうな花：スミレの仲間、ネコノメソウの仲間、イチゲの仲間など</p>

※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

2006/4/30 (日) 三沢川下り

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています シロボウエンゴサク、イチリンソウ、タマノカンアオイ、クチナシグサ、ノジスミレ、ゲンゲ、ふれあいの森でヤマルリソウなどの花が見られると思います
地図	
コース	若葉台駅→稲城高校前→稲城キャンプ村(ふれあいの森)周辺→天神台→高勝寺→清水谷戸→駒沢学園→百村→京王稲城駅(解散) 行程5~6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。